



アジアMTB選手権XCで優勝し、日本にオリンピック枠をもたらせた野口

### シクリスムエコーNo.102 2003年10月号

第9回 MTB アジア選手権大会 .....	2
第4回 チャレンジ・ザ・オリンピック .....	5
「ナショナルチーム」「強化指定選手」の再編成について .....	6
第7回 全日本実業団クリテリウム in いわき .....	7
2003 ツール・ド・北海道 国際大会 .....	8
文部科学大臣杯 第59回 全日本大学対抗選手権 .....	10
日本スポーツマスターズ2003 自転車競技会 .....	12

競技大会結果 .....	14
登録者のアンチドーピング検査規則に関する裁定 .....	15
インフォメーション コーナー .....	15
2003 ジャパンカップサイクルロードレース .....	15
各国際大会日本代表選手団 .....	16
連盟の動き .....	16
連盟事務局の人事異動について .....	16

# 第9回 MTB アジア選手権大会

## DHメダル独占、男子XC オリンピック枠獲得!

9月17日から21日まで、青森県のモヤヒルズスキー場で、第9回マウンテンバイク・アジア選手権日本大会が開催された。

ダウンヒルは雨の中、9月19日男女のシーディングランが行われ、日本勢がタイム上位を占めた。

翌20日、天候は回復したが、前日降った雨で、路面はかなり水を含んでいる中、ダウンヒル男女エリートの決勝が13時30分から行われた。

予想通り日本選手団は、男子は1位の塚本を筆頭に4位まで、女子は1位の未政から3位までを独占し、表彰台は日の丸で占められた。



**DH/WOMEN**

女子のチャンピオン未政



男子のチャンピオン塚本



**DH/MEN**

**[ 競技結果 ]**

ダウンヒル男子エリート ( 1.7km )

1	塚本 岳	JPN	2:42.01
2	大島 礼治	JPN	2:44.74
3	竹本 将史	JPN	2:52.62
4	内嶋 亮	JPN	3:00.19
5	CHEN Yuan Fen	TPE	3:11.23
6	LEE Yun-Yi	TPE	3:19.94
7	CHUNG Hyung Rae	KOR	3:20.52
8	TSUI King Man	HKG	3:22.91
9	WONG Chin Fung	HKG	3:30.67
10	CHANG Jae Yoon	KOR	3:32.69

ダウンヒル女子エリート ( 1.7km )

1	未政 実緒	JPN	3:19.57
2	増田 まみ	JPN	3:31.56
3	猪俣 浩子	JPN	3:38.94
4	CHEN Hung-Chia	TPE	4:37.21
5	CHOU Pei-Ni	TPE	5:08.30
6	LIU Hsiang-Lan	TPE	5:31.03
7	ABU HASSAN Ummi Maisarah	MAS	7:05.97
8	SODSAI Onanong	THA	7:42.38
9	ALI Norasyimah	MAS	10:11.50



男子の表彰台、左から大島、塚本、竹本



女子の表彰台、左から増田、未政、猪俣

**XC/WOMEN**

一方、クロスカントリーは最終日の9月21日、1周6.4kmのコースを男子エリートは6周、女子エリートは5周で、アテネオリンピックの出場権を掛け、壮絶な争いが繰り広げられた。

午前9時、女子エリート18名がスタート。予想通り、中国勢と南部の争いになる。一時は先頭を走っていた南部も中国のMAに1分の差をつけられ、2位でゴール。残念ながらオリンピック枠の獲得はならなかった。



晴天の中、青森湾を望むコースを行く南部

**[ 競技結果 ]**

女子エリート ( 32km )

1	MA Yanping	CHN	2:27:35.54
2	南部 博子	JPN	2:28:43.98
3	GAO Xiaoning	CHN	2:29:44.41
4	ZHANG Xinhus	CHN	2:31:05.10
5	中込由香里	JPN	2:31:51.35
6	真下 正美	JPN	2:36:46.71
7	HUYEN Nguyen Thi Tha	VIE	2:38:22.53
8	WANG Jingjing	CHN	2:39:51.85
9	高橋いづみ	JPN	2:41:47.85
10	JANTARUS Jiraporn	THA	2:43:41.68

スタート直後、優勝のMAを先頭に中国勢が集団の前方を占める



MA(左)と南部



女子の表彰台、左から南部、MA、GAO

**XC/MEN**

男子のスタート直後、2位の色川(2)、1位の野口(1)が集団の両サイドを走る



1人逃げる野口



2周目に入り野口、YAKOVLEVを引く色川  
YAKOVLEVは結局フィニッシュ出来ず



男子の表彰台、左から色川、野口、SHAO



単独で逃げ切りチェッカーを受ける野口  
寛仁親王殿下から祝福を受ける野口

今大会の最終レース、クロスカン  
トリー男子エリートは9月21日午後2時、  
40名の選手がスタート。

スタート直後は予想通りカザフスタ  
ンのYAKOVLEVがリードするが、1周  
終了までに色川・野口がつかまえる。そ  
の後、野口が単独で先行、そのまま逃げ  
切り、男子クロスカンントリーのアテネ  
オリンピック枠を1枠獲得した。

#### [ 競技結果 ]

男子エリート ( 38.4km )

1	野口 忍	JPN	2:19:04.24
2	色川 浩樹	JPN	2:21:00.16
3	SHAO Xiaojun	CHN	2:21:47.07
4	LI Fuyu	CHN	2:22:44.83
5	ZHU Yongbiao	CHN	2:23:51.75
6	竹谷 賢二	JPN	2:24:08.90
7	JIANG Xueli	CHN	2:28:39.51
8	山口 孝徳	JPN	2:29:09.15
9	ALI Usman	INA	2:34:17.29
10	CHAN Chun Hing	HKG	2:37:01.76



フェアウェルパーティーで寛仁親王殿下を囲む日本選手団

## 第4回チャレンジ・ザ・オリンピック



#### [ 記録結果 ]

9月28日、静岡県の  
日本サイクルスポー  
ツセンター250mト  
ラックで第4回チャレ  
ンジ・ザ・オリンピッ  
クが開催された。

今回の記録によっ  
て「アテネオリンピッ  
ク」へ向けてのナショ  
ナルチーム再編成と  
いうこともあり、選手  
も80名を越す参加で  
あった。

男子200mフライング TT	
1	矢口啓一郎 10.379
2	井上 昌己 10.539
3	伏見 俊昭 10.576
4	金子 貴志 10.597
5	永井 清史 10.601
6	中川誠一郎 10.629
男子250mTTテスト	
1	長塚 智広 17.783
2	伏見 俊昭 17.919
3	佐藤 正吾 18.275
4	渡邊 晴智 18.313
5	金子 貴志 18.447
6	鈴木 英介 18.465
男子1kmタイムトライアル	
1	矢口啓一郎 1.04.626
2	井上 昌己 1.04.650

3	荒井 崇博 1.04.915
4	大森 慶一 1.05.316
5	中川誠一郎 1.05.554
6	内田 慶 1.05.677
男子3kmタイムトライアル	
1	根本 哲吏 3.47.017
2	石川 雅望 3.48.386
3	金澤 竜二 3.50.853
男子4kmタイムトライアル	
1	坂口 博 4.46.478
2	吉井 功治 4.49.599
3	内田 慶 4.51.320
4	西谷 泰治 4.51.502
5	飯島 規之 4.51.877
6	飯島 誠 4.56.176

2	太刀川麻也 12.352
3	遠藤 友子 12.945
4	岡 希美 13.350
5	遠山 恵 13.536
6	石井 寛子 14.106
女子500mタイムトライアル	
1	大菅小百合 36.228
2	太刀川麻也 36.544
3	遠藤 友子 37.677
4	岡 希美 38.782
5	石井 寛子 39.730
6	遠山 恵 41.064
女子3kmタイムトライアル	
1	大塚 歩 4.05.510
2	石井 寛子 4.18.609
3	和田見里美 4.24.136
4	堀 友紀代 4.59.766

女子200mフライング TT	
1	大菅小百合 12.252



# 「ナショナルチーム」および「強化指定選手」の再編成について

平成15年度第6回選手強化本部会を開催し、アテネ・オリンピックを視野に入れた「ナショナルチーム」の選手選考について慎重な審議をした結果、下記の通り選手の再編成をしましたのでお知らせします。

## ナショナルチーム

<トラック短距離男子> 8名



神山雄一郎 (JPCA・JPCU栃木) 1968生



山田 裕仁 (JPCA・JPCU岐阜) 1968生



伏見 俊昭 (JPCA・JPCU福島) 1976生



金子 貴志 (JPCA・JPCU愛知) 1975生



長塚 智広 (JPCA・JPCU茨城) 1978生



井上 昌己 (JPCA・JPCU長崎) 1979生



矢口啓一郎 (JPCA・JPCU群馬) 1980生



永井 清史 (JPCA・JPCU岐阜) 1983生



大菅小百合 (長野・三協精機) 1980生

## <トラック中距離男子>

1名



飯島 誠 (JPCA・三協精機・MIXミ) 1971生

1名

## <トラック短距離女子>

### 強化指定選手

#### 「強化指定選手」<短距離> (9名)

男子 吉本 哲朗 (JPCA広島)・稲垣 裕之 (JPCA京都)・大森 慶一 (JPCA北海道)・佐藤 正吾 (JPCA宮城)・川村 崇 (東京)  
北津留 翼 (福岡)・新田 祐大 (福島)・菅田 壱道 (宮城)

女子 太刀川麻也 (茨城)

#### 「強化指定選手」<中距離> (7名)

男子 内田 慶 (JPCA栃木)・坂口 博 (愛知)・西谷 泰治 (広島)・黒木 裕介 (宮崎)・盛 一大 (宮城)  
伊藤 太一 (山梨)・臼井 昌巨 (岐阜)

#### 「強化指定選手」<長距離> (16名)

エリート女子 沖 美穂 (JPCA)・大塚 歩 (栃木)・木村 春恵 (青森)・齋藤 綾 (秋田)・中村 珠藻 (奈良)  
許斐真由子 (鹿児島)・唐見実世子 (石川)・嶋田 広子 (北海道)

アンダー23 土井 雪広 (山形)・高島 豪 (埼玉)・別府 史之 (神奈川)・池田 丈志 (奈良)・松村 光浩 (和歌山)

ジュニア男子 舟木 誠 (福島)・島田 真琴 (東京)・畑中 勇介 (東京)・西村 光太 (三重)・森 良 (広島)

# 第7回全日本実業団クリテリウムinいわき

## [ 競技結果 ]

( 9/27-28 福島・いわき21世紀の森公園 )

### BR-1 ( 50.05 km )

- |    |       |            |         |
|----|-------|------------|---------|
| 1  | 阿部 良之 | JPCA シルルシグ | 1:16:45 |
| 2  | 三船 雅彦 | JPCA ミヤタバル | 1:16:50 |
| 3  | 山本 雅道 | 神奈川 シルルシグ  | 1:16:50 |
| 4  | 今西 尚志 | 京都 シルルシグ   | 1:16:50 |
| 5  | 大内 薫  | 大阪 シルルシグ   | 1:16:50 |
| 6  | 野寺 秀徳 | JPCA シルルシグ | 1:16:50 |
| 7  | 品川 真寛 | 京都 ミヤタバル   | 1:16:50 |
| 8  | 鈴木 太地 | 神奈川 プリヂストン | 1:16:51 |
| 9  | 三浦 恭資 | JPCA CCD杉  | 1:16:51 |
| 10 | 廣瀬 佳正 | JPCA シルルシグ | 1:16:51 |

### BR-1 団体成績

- |   |            |          |      |
|---|------------|----------|------|
| 1 | シルルシグ      | 阿部・山本・今西 | 8 p  |
| 2 | ミヤタバルシグチーム | 三船・品川・中川 | 28 p |
| 3 | 愛三工業シグチーム  | 新保・田中・江下 | 53 p |

### BR-2 ( 42.9 km )

- |    |       |                |         |
|----|-------|----------------|---------|
| 1  | 杉本 大輔 | 埼玉 旭ノA&Tヤマダ    | 1:09:31 |
| 2  | 児玉 規英 | 東京 YOU CAN     | 1:09:31 |
| 3  | 馬場 武蔵 | 北海道 ファイブスター    | 1:09:34 |
| 4  | 佐野 淳哉 | 学連 プリヂストンスポーツ  | 1:09:46 |
| 5  | 古賀 善行 | 大阪 カガワAS       | 1:09:47 |
| 6  | 森山 大知 | 神奈川 旭ノA&Tヤマダ   | 1:09:47 |
| 7  | 高野 淳  | 神奈川 プリヂストンスポーツ | 1:09:47 |
| 8  | 堀切 善之 | 東京 なるしまフレンド    | 1:09:47 |
| 9  | 小室 雅成 | 埼玉 みさかレーシング    | 1:09:48 |
| 10 | 岩橋 賦  | 東京 YUKIRIN     | 1:09:48 |

### BR-2 団体成績

- |   |               |       |      |
|---|---------------|-------|------|
| 1 | 旭ノA&Tヤマダレーシング | 杉本・森山 | 7 p  |
| 2 | ファイブスター       | 馬場・中島 | 18 p |
| 3 | カガワAS.Kデザイン   | 古賀・赤池 | 19 p |

### BR-3 ( 35.75 km )

- |    |                 |                |       |
|----|-----------------|----------------|-------|
| 1  | 中本ゆうゆう          | 岩手 スタバ・和ハール    | 57:47 |
| 2  | 善波 昭            | 東京 デュプロ        | 58:02 |
| 3  | 杉本 快            | 東京 たかだフレンド     | 58:02 |
| 4  | 梶栗 秀敏           | 神奈川 HAMMER!!BR | 58:02 |
| 5  | 土子 誠二           | 神奈川 たかだフレンド    | 58:02 |
| 6  | 杉浦 正和           | 東京 チーム・マリアンザ   | 58:02 |
| 7  | 山本 誠一           | 東京 SPACE       | 58:02 |
| 8  | 服部比呂詩           | 岐阜 BREZZART    | 58:03 |
| 9  | ANDREW WHITAKER | 新潟 PIAA-FUGAKU | 58:03 |
| 10 | 内藤 泰志           | 東京 チーム・マリアンザ   | 58:03 |



**SHIMANO**

*The 100th Anniversary Tour de France  
Lance Armstrong  
United States Postal Service Team, USA  
Wins Fifth Consecutive  
Riding New DURA-ACE*

**DURA-ACE**

[www.shimano.com](http://www.shimano.com)

発売時期・価格は、決定次第シマノホームページ上などでお知らせいたします。

## 2003 ツール・ド・北海道 国際大会

9月10日午後1時、小雨降る旭川市、「2003ツール・ド・北海道国際大会」は石狩川河川敷での**プロローグ**を迎えた。

開始後10分ほどで雨足が強まってきた。選手にとっては横風も強敵である。

4番目スタートのラロシェ(カナダ)が2分51秒68のタイムをたたき出す。39番目スタートのピッツォフェラート(日舗)が2分54秒13で2番時計。50番目スタートの橋川(BS)が2分55秒65で存在をアピール。

田代(BS)、真鍮(ミヤタ)も好タイムだが上位3名は変動なし。今年実業団に入ったばかりの西谷(愛三)がついにラロシェの記録を上回る2分51秒07。

沿道の声援が高まる中、昨年のプロローグの覇者・岡崎(日舗)が2分53秒63で貫禄の走り、暫定3位となる。

全日本チャンピオン福島(BS)が54秒台、飯島(ラバネロ)、坂口(愛三)、鈴木(シマノ)がいずれも55秒台、期待の広瀬(日舗)は56秒台という記録に終わり、逆転はならず、西谷が初日プロローグを制する結果となった。

ベテラン勢が上位を固めステージへ向けて好発進したのが興味深い。

9月11日、**第1ステージ**の朝。前日の雨も上がり、路面ドライの状況である。

午前9時、100名の選手が旭川市総合体育館前から1.5kmのパレード区間のち正式スタート。

最初のKOM鷹栖峠を野寺(シマノ)、飯島、柿沼(キナン)、狩野(シマノ)の順で通過。その後アタックを繰り返した大集団をシマノがコントロールしつつ和寒峠のKOMへ向かう。2回目のKOMを野寺が先頭通過。最初のHSを西谷、水谷(BS)、岡崎の順に通過。

前半からの田代の再三のアタックは成功せず、中盤あたりから飯島が活発に動く。集団との差を25秒まで開くが2回目のHSを前に橋川、広瀬、飯島、モエゼディン・コムルジ(イラン)の4名が飛び出し、この順でHS通過。114km地点の補給所にて落車のアクシデントが複数発生!シマノのエース鈴木が自転車を交換して復帰。3時間が経過、残り50km看板を通過。先頭の4名と集団の差は1分25秒まで開く。

142.2km地点、糸魚トンネルのKOM通過時には差は30秒となり、157km付近で吸収される。フィニッシュまで25km、ピッツォフェラートがアタック開始。169km地点でマラカイトの西谷の足が痙攣!アシスト陣が待機するが集団

から完全に遅れてしまう。一旦吸収されたピッツォフェラートは残り10km看板を過ぎて再度アタック、集団に10秒の差をつけ名寄市浅江島公園のフィニッシュラインを駆け抜けた。

9月12日午前9時、**第2ステージ**は薄曇りの美深町民体育館をスタートした。出走は90名。正式スタート直後からシマノが活発な動きを見せる。

前日に痙攣で大きく遅れた西谷のいる愛三の動きは巻き返しをはかるべく積極的で、美深町・音威子府村界にて田中・坂口が集団に11秒差をつける。カウンターアタックをしかけたレンジ(マルコポーロ)、モエゼディン・コムルジ、西谷が加わり本日1回目のHSをめざす。HSをレンジ、コムルジ、田中の順で通過、集団に一旦38秒差をつけたがシマノ・日舗のカウンターアタックで吸収される。地元の児童の声援を受けつつ中頓別町に入り、阿部(シマノ)、山本(日舗)、バリー(アイルランド)、コムルジ、ダールバーグ(マルコポーロ)、水谷、馬塚(北海道選抜)、三船(ミヤタ)による8名の先頭集団ができた。残り130km看板を通過、36秒差になったところで山本がメイン集団に戻る。7名は先頭交代を繰り返しつつ最大約1分まで差を広げた。しかし本日1回目のKOM手前で吸収され、福島、狩野、ダイグナン(アイルランド)、ピッツォフェラート、野寺の順でKOM通過。その後大集団となり、幌延町上問寒補給所手前で三船(キナン)がアタック、豊幌トンネルのKOMを先頭通過したのち吸収される。山岳賞の野寺が2位通過、ジャージを守った。

146km付近での飯島のアタックののち福島、岡崎、中川(ミヤタ)の逃げが20分ほど続いたがその後は稚内市のフィニッシュへ向け各チーム熾烈なアタック合戦となる。最後のコーナー、インに一旦詰まりながらも驚異のスプリントを発揮した西谷が真っ先に駆け抜け、第1ステージの雪辱を果たした。

9月13日午前9時、**第3ステージ**は、豊富町の町役場前からのスタートである。天候は曇り、路面は乾いているが、台風が近づき、降雨は避けられそうにない。日本海沿岸を留萌へ向かう平坦なコースだが、山からの風が選手を苦しめる可能性がある。74名がスタート。

正式スタート直後、阿部、広瀬、田中(愛三)、柿沼、中川、リンチ(アイルランド)、橋川が飛び出す。さらに岡崎、狩野、三船、ウィルソン(マルコポーロ)とレン

ジがカウンターアタック、7名に追いつく。さらにアスカリ(イラン)が加わり先頭は13名となる。快調に進む13名はメイン集団に対し3分以上という今大会最大のアドバンテージを得る。39km地点から雨が降り始めた。残り130km看板を通過し差は5分10秒。1回目のHSを橋川、広瀬、岡崎の順に通過。残り110km看板を過ぎ路面は完全にウェットとなる。メイン集団ではカナダ全員がひき差をつめようとするが、有力チームはすべて逃げにのっているのが集団のスピードは上がらず、5分程度の差をつけたまま13名は2回目のHSを通過、元気よく橋川が連続ゲット。

補給所まで10km地点あたりから先頭とメイン集団の差はどんどん広がり本日唯一のKOMを越えてついに10分30秒となる。BSを中心とした小刻みなカウンターアタックもあり差は8分台に縮まる。本日3回目のHS手前、158.5km地点小平トンネルの上りで田中がアタック。これにのった広瀬、狩野の計3名が他の10名に差をつけはじめた。

3名は小平町から留萌市に入り、雨足の強まった留萌市高砂公園前のフィニッシュラインに真っ先に飛び込んだのは広瀬。チームメイトのピッツォフェラートから広瀬の手にリーダージャージが移る形となった。

9月14日、**第4ステージ**は、滝川市役所前をスタート、札幌市・モエレ沼公園へフィニッシュする171km。天候は曇り、心配された台風14号は上陸することなく去っていったが、札幌市は時折突風が吹いているという情報である。

スタートは73名。10km過ぎに福島、鈴木、西谷、柿沼の4名が飛び出し10秒差をつける。さらにラロシェがカウンターアタックしたが追いつけず、鈴木もメインに吸収された。

メイン集団ではカナダ・アイルランドが再三飛び出そうとするが成功するには至らない。新十津川町から当別町へ入る青山トンネルで先頭とメイン集団の差は2分、本日1回目のKOMで3分を開く。向い風はかなり厳しいが福島が積極的にひいていく。本日1回目のHS手前で西谷が仕掛けそのまま先頭通過。メイン集団は日舗全員が完全にコントロールしている。海岸線では海風が厳しい。

110km看板を通過し、差が5分となったところでメイン集団では、野寺の山岳賞も危ういと見たがシマノが積極的になってくる。2回目のKOMも福島が獲



個人総合優勝、日本舗道の広瀬

り、4位通過の野寺から山岳賞ジャージを奪う。残り70km看板を過ぎ差が3分半に縮まったところで福島が単独アタック、西谷と柿沼に1分差、メイン集団に3分差で2回目のHSも通過する。139km地点で西谷と柿沼はメイン集団に吸収された。石狩市から再び当別町、最後の上りにかかり差は20秒。メイン集団は全日本チャンピオン福島の背中を完全に捕らえたかに見えたが、ブライアン(アイルランド)が福島に追い付き先頭交代をはじめ、福島は回復の余裕を得た。さらにアスカリが加わり残り10kmで13秒差。しかし再び縮まり残り2kmで5秒差。吸収寸前に福島が再度、まさかの単独アタック、追い風によってフィニッシュラインへ飛び込んだ。



9月15日、爽やかな秋空の下、札幌市での第5ステージを迎えた。モエレ沼公園内2.65kmの周回コースを23周する距離61kmのクリテリウム。

13時30分、いよいよ最終ステージのスタート。出走は71名。モエレ沼公園は雪が横に降るほどの風の名所、スタート地点は追い風だが、完成途中のモエレ山の向こうで選手はかなりの強風に悩まされる。

2周目、岡崎、柿沼、コムルジ第(イラン)、飯島、田代の5名が飛び出す、3周目途中で吸収され、最初のHSをピッツォフェラート、岡崎がワンツーで通過。

日舗はリーダージャージの広瀬を守るように走行。6周目を連日孤軍奮闘の飯島が、単独で先頭通過。7周目にアスカリ、野寺、飯島が逃げ、8周目、この3名にミヤタの三船・真鍋が加わる。8周回完了時のHSを獲ったのは野寺、続いて飯島、三船。

11周目に西谷がアタックしたがフィニッシュラインまではもたず、狩野・阿部のシマノ勢が出て、すかさず広瀬が狩野をマーク。13周完了時のHSをポイントジャージのピッツォフェラートが取る。

集団を日舗全員が完璧にコントロール。18周目、4回目のHSめざしアイルランドが日舗のスキをつこうとするがHSは結局岡崎、広瀬、ピッツォフェラートが独占。ラスト3周をすぎ、山岳賞ジャ

ジの福島、阿部も動くがいずれも日舗に阻まれる。どのチームも展開を作れぬままラスト周回へ突入。モエレ山の向こう側、日舗全員でアタック!最終コーナーを抜け横一杯に広がったスプリント合戦、間を抜けて真っ先にラインを駆け抜けたのは水谷。これで広瀬の個人総合他各賞が確定した。

(ツール・ド・北海道ニュースより抜粋)

## [競技結果]

## プロク (2.3km)

1	西谷 泰治	愛三工業	2:51.07
2	河野 ジェン・ファン	カダ	2:51.68
3	岡崎 和也	日本舗道	2:53.63
4	ピッツォフェラート	日本舗道	2:54.13
5	福島 晋一	ブリヂストン	2:54.63
6	坂口 博	愛三工業	2:55.55
7	鈴木 真理	シラルーシ	2:55.60
8	橋川 健	ブリヂストン	2:55.65
9	真鍋 和幸	ミヤタ	2:55.89
10	飯島 誠	ミヤタ 和	2:55.96

## 第1ステージ (181km)

1	ピッツォフェラート	日本舗道	4:04:12
2	岡崎 和也	日本舗道	4:04:22
3	鈴木 真理	シラルーシ	4:04:22
4	グリフィン	アイルランド	4:04:22
5	水谷 壮宏	ブリヂストン	4:04:22
6	ダイナミック	アイルランド	4:04:22
7	三船 雅彦	ミヤタ	4:04:22
8	真鍋 和幸	ミヤタ	4:04:22
9	綾部 勇成	ミヤタ	4:04:22
10	ハギ アリツ	イラン	4:04:22

## 第2ステージ (181km)

1	西谷 泰治	愛三工業	4:19:26
2	ピッツォフェラート	日本舗道	4:19:26
3	河野 ジェン・ファン	カダ	4:19:26
4	水谷 壮宏	ブリヂストン	4:19:26

5	辻 貴光	立命館大学	4:19:26
6	綾部 勇成	ミヤタ	4:19:26
7	真鍋 和幸	ミヤタ	4:19:26
8	鈴木 真理	シラルーシ	4:19:26
9	ダイナミック	アイルランド	4:19:26
10	崔 大 鏞	韓国	4:19:26

## 第3ステージ (170km)

1	広瀬 敏	日本舗道	4:04:49
2	狩野 智也	シラルーシ	4:04:49
3	田中 光輝	愛三工業	4:04:49
4	三船 雅彦	ミヤタ	4:05:24
5	橋川 健	ブリヂストン	4:05:24
6	阿部 良之	シラルーシ	4:05:24
7	岡崎 和也	日本舗道	4:05:24
8	レンジ コーリー	マルコー (ホコソ)	4:05:24
9	ティム ウィルソン	マルコー (ホコソ)	4:05:24
10	リッチ デニス	アイルランド	4:05:24

## 第4ステージ (171km)

1	福島 晋一	ブリヂストン	4:08:38
2	河野 ジェン・ファン	カダ	4:08:41
3	グリフィン	アイルランド	4:08:41
4	広瀬 敏	日本舗道	4:08:41
5	鈴木 真理	シラルーシ	4:08:41
6	橋川 健	ブリヂストン	4:08:41
7	ピッツォフェラート	日本舗道	4:08:41
8	中川康二郎	ミヤタ	4:08:41
9	岡崎 和也	日本舗道	4:08:41
10	三船 雅彦	ミヤタ	4:08:41

## 第5ステージ (63km)

1	水谷 壮宏	ブリヂストン	1:19:34
2	三船 雅彦	ミヤタ	1:19:34
3	鈴木 真理	シラルーシ	1:19:34
4	ピッツォフェラート	日本舗道	1:19:34
5	河野 ジェン・ファン	カダ	1:19:34
6	岡崎 和也	日本舗道	1:19:34
7	福島 晋一	ブリヂストン	1:19:34
8	橋川 健	ブリヂストン	1:19:34
9	飯島 誠	ミヤタ 和	1:19:34
10	グリフィン	アイルランド	1:19:34

## 個人総合時間

1	広瀬 敏	日本舗道	17:59:25.79
2	狩野 智也	シラルーシ	17:59:46.26
3	田中 光輝	愛三工業	17:59:48.63
4	岡崎 和也	日本舗道	18:00:06.63
5	橋川 健	ブリヂストン	18:00:14.65
6	三船 雅彦	ミヤタ	18:00:17.18
7	中川康二郎	ミヤタ	18:00:27.24
8	レンジ コーリー	マルコー (ホコソ)	18:00:28.78
9	アスカリ	イラン	18:00:29.99
10	阿部 良之	シラルーシ	18:00:31.19

## 日本選手U23個人総合時間

1	土井 雪広	法政大学	18:08:28.46
2	山本 敬純	立命館大学	18:09:55.22
3	辻 善光	立命館大学	18:10:14.97

## 個人総合山岳賞

1	福島 晋一	ブリヂストン	17 p
2	野寺 秀徳	シラルーシ	17 p
3	柿沼 章	CCD.キッ	12 p

## 個人総合ポイント賞

1	ピッツォフェラート	日本舗道	90 p
2	岡崎 和也	日本舗道	65 p
3	鈴木 真理	シラルーシ	61 p

## 団体総合時間賞

1	日本舗道	54:08:13
2	シラルーシ	54:08:36
3	ミヤタ	54:09:14



# 文部科学大臣杯 第59回全日本大学対抗選手権

**トラック：8月28日～30日**

長野県「松本ががね自転車競技場」333mトラック

**ロード：8月31日**

長野県小川村一般公道周回コース(16.3km/周)

今年で59回の歴史を誇る“インカレ”は、初めて長野県で開催された。近年、学生競技者にとっては、一般公道を用いたロードレースに参加する機会も少ないため、今回のように自然に富んだ環境の中で大会が開催されたことは、選手にとっても非常に良い経験となったと思われる。男子総合は、昨年ついに20連覇という偉業を達成した日本大学に対して、他校がいかに挑むかが注目された。一方の女子総合は、近年特に接戦となっており、今年も各校優勝争いを繰り広げた。

## 【男子トラックレース】

スプリントは、初日の予選200mにて、追い風ながら10秒台が5名という、ハイレベルな戦いとなった。そうした中、決勝は予選トップタイムの川村(早大)と、近年着実に力をつけてきた丸尾(順大)の対戦となったが、スピードに勝る川村がゴール前で圧倒する強さを見せ、初優勝を果たした。

スプリントとTTの2冠に輝いた川村



1kmタイムトライアルも1分1ケタ台が13名という、近年稀にみる好記録ラッシュとなった。特に、地元である信州大の原口が4位、長友が7位に入る素晴らしい走りを見せ、観客を大いに湧かせた。結局、この種目でも、最終走者として登場した川村(早大)が、日大勢、法大勢らの強豪を破って優勝し、2冠に輝いた。

今や非常に珍しい種目となったタンデムスプリント。車長の長いタンデムの場合、333m走路では“先行有利”と考えられ、各チームのポジション取りに注目が集まった。昨年の優勝ペアで



ケイリン決勝のフィニッシュ

ある前田&西村(日大)が、今年もチームワークの良さを見せ、決勝でも順大ペアを下し2連覇を達成した。

4km個人追抜競走は、大方の予想通り、黒木(法大)と伊藤(日大)の戦いとなった。予選では本調子でなかった黒木も、決勝では本来の粘り強い走りを取り戻し、後半には徐々に伊藤を引き離して圧勝、この種目2年振り2度目の優勝を飾った。ポイントレースは、各校1名エントリーということで、毎年混戦模様となる種目。佐藤(順大)、盛(日大)、辻(立命館大)を中心に積極果敢な掛け合いを展開するが、なかなか逃げは決まらない。優勝争いは最終ゴールまでもつれ込み、ここで1着=5点を獲得した佐藤が接戦を制した。

チームスプリントは、各チーム短距離選手層の厚さのパロメーターとも言える種目。昨年の覇者、順大チームは、この1年で更に力をつけて来ており、チームの好調さを象徴する圧勝ぶりで2連覇を飾った。

4km団体追抜競走は、前評判通りの2チーム、法大対日大の一騎打ちで決勝が行われた。今年の法大勢は4人が最大限の力を出し切り、終始ハイペースを維持、黒木の個抜きを再現したかのような走りで、日大を徐々に引き離

して、2年ぶりの優勝を飾った。

## 【女子トラックレース】

今年は、短距離では遠藤(鹿屋体育大)対篠崎(明大)、中・長距離では中村&斎藤(順大)対許斐(鹿屋体育大)、松永(法大)の戦いとなった。上位が同じ顔ぶれとなりやすいのが、女子トラック種目であり、今後より選手数が増えて混戦によるレベルアップが望まれる。各種目の決勝は、上記選手を中心に展開された結果、遠藤がスプリントと500mタイムトライアルを、3km個人追抜きは中村が、ポイントレースは斎藤がそれぞれ制し、順大対鹿屋体育大の総合優勝争いとなった。

## 【男子個人ロードレース】

今回の小川村ロードコースは、本格的な峠の登りが設定された厳しいコース。雨天の中のサバイバルレースは予想以上に過酷なものとなった。その中で1人、レース序盤から集団を飛び出したのが土井(法大)である。今年の好調さを象徴するかのように、後続を気にすること無くラップを重ねて行くが、悪天候の中では、日大勢も無理には土井を追わずチームとしての得点獲得に徹する。その結果、ブッチ切りで土井が優勝、2位には佐々木(日大)、3位には岩本(京産大)が入った。そして、今年



女子スプリント決勝の遠藤(左)と篠崎

も日大がロードレースで合計48点もの大量得点を果たし、他校を寄付けない圧勝で幕を閉じた。

**【女子個人ロードレース】**

女子は中盤から斎藤(順大)が1人で逃げる展開となった。今までトラック種目での活躍が目立っていた斎藤だが、この登りの厳しいコースでの積極果敢な走りは、ロード選手として非常に高い評価に値する。後方から許斐(鹿屋体育大)、中村(順大)、松永(法大)、梅野(同志社大)が追うものの差は縮まらず、斎藤がインカレロード初優勝を飾った。この結果、女子総合はトラック、ロード双方において着実に得点を重ねた順天堂大学が、見事に初優勝を飾った。(倉田 達樹)

**[ 競技結果 ]**

**<トラックレース>**

**男子1kmタイムトライアル**

- 1 川村 崇 東京 早稲田大学 1.06.514
- 2 竹沢 浩司 富山 日本大学 1.06.938
- 3 屋良 朝春 沖縄 日本大学 1.07.303
- 4 原口 賢一 長野 信州大学 1.07.963
- 5 黒木 裕介 宮崎 法政大学 1.08.134
- 6 西村 尚文 鹿児島 法政大学 1.08.165

**男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ**

- 1 川村 崇 東京 早稲田大学
- 2 丸尾 哲司 千葉 順天堂大学
- 3 福山 健太 鹿児島 法政大学
- 4 竹沢 浩司 富山 日本大学
- 5 柴崎 俊光 三重 中央大学
- 6 高島 豪 埼玉 中央大学

**男子ケｲﾘﾝ**

- 1 屋良 朝春 沖縄 日本大学
- 2 川崎 大慈 熊本 順天堂大学
- 3 小堺 浩二 石川 京都産業大学
- 4 前田 義和 鹿児島 鹿屋体育大学
- 5 益子 裕介 栃木 朝日大学
- 6 原口 賢一 長野 信州大学

**男子4km個人追抜競走**

- 1 黒木 裕介 宮崎 法政大学 4.50.926
- 2 伊藤 太一 山梨 日本大学 4.59.463
- 3 三瀧 光誠 山形 鹿屋体育大 5.01.420
- 4 佐藤 佑一 岩手 順天堂大学 5.03.993
- 5 蛭名 洋平 青森 東北学院大 5.03.871
- 6 辻 貴光 京都 立命館大学 5.05.358

**男子ﾊﾞｲﾄﾚｰｽ**

- 1 佐藤 佑一 岩手 順天堂大学 35 p
- 2 盛 一大 茨城 日本大学 35 p
- 3 辻 貴光 京都 立命館大学 28 p
- 4 岩本竜太郎 広島 京都産業大学 18 p
- 5 中島 康晴 福井 鹿屋体育大学 18 p
- 6 高島 豪 埼玉 中央大学 14 p

**男子ｸﾞﾚｲﾄﾞｽﾌﾟﾘｯﾄ**

- 1 日本大学 前田 吉昭・西村 行貴
- 2 順天堂大学 野口 智史・戸田 洋平
- 3 法政大学 佐野 伸弥・加藤 愛彬
- 4 中央大学 本田 浩章・桜井 太士

- 5 立命館大学 佐々木悠哉・辻 善光
- 6 東北学院大学 和田 健次・田辺 勝規

**男子ﾃﾞﾑﾞｽﾌﾟﾘｯﾄ**

- 1 順天堂大 丸尾・佐川・佐藤 1.04.38
- 2 東北学院 小池・小倉・牧野 1.07.57
- 3 北見大学 園田・久間・三嶋 1.08.517
- 4 立教大学 倉部・稲子・齋藤 1.09.527
- 5 龍谷大学 藤原・吉川・米田 1.11.899
- 6 日本体大 田中・成田・深谷 1.12.927

**男子4km団体追抜競走**

- 1 法政大学 石田・黒木・明珍・柴田 4.25.732
- 2 日本大学 明珍・盛・吉田・青木 4.31.854
- 3 中央大学 水尾・入谷・三浦・高島 4.34.950
- 4 鹿屋体大 荒木・天沼・中島・三瀧 4.36.261
- 5 京都産大 清水・小堺・辻・鈴木 4.47.882
- 6 明治大学 加藤・親川・高森・立里 4.48.954

**女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ**

- 1 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学
- 2 篠崎 新純 千葉 明治大学
- 3 加藤 尚恵 埼玉 日本体育大学

**女子500mﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ**

- 1 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学 37.772
- 2 篠崎 新純 千葉 明治大学 38.375
- 3 仁藤ひろみ 静岡 明治大学 40.22

**女子3km個人追抜競走**

- 1 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 4.09.88
- 2 許斐真由子 鹿児島 鹿屋体育大 4.13.06
- 3 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 4.18.105

**女子ﾊﾞｲﾄﾚｰｽ**

- 1 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 29 p
- 2 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 23 p
- 3 松永 舞美 香川 法政大学 19 p

**<ロードレース>**

**男子(76.7km)**

- 1 土井 雪広 山形 法政大学 2:41:37
- 2 佐々木正美 青森 日本大学 2:43:45
- 3 岩本竜太郎 広島 京都産業大学 2:45:57



- 4 普久原 奨 沖縄 日本大学 2:46:20
- 5 小笠原 豪 青森 日本大学 2:47:06
- 6 松村 光浩 和歌山 日本大学 2:47:12
- 7 山本 敬純 大阪 立命館大学 2:47:33
- 8 盛 一大 茨城 日本大学 2:47:37
- 9 舟木 誠 福島 日本大学 2:47:49
- 10 稲田 佳弘 愛知 名古屋産業大 2:48:02

**女子(27.8km)**

- 1 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 1:15:01
- 2 許斐真由子 鹿児島 鹿屋体育大学 1:16:34
- 3 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 1:18:33



- 4 松永 舞美 香川 法政大学 1:19:29
- 5 梅野 敦子 京都 同志社大学 1:19:40
- 6 玉城 さち 沖縄 鹿屋体育大学 1:23:39
- 7 佐藤紗矢香 北海道 北海道大学 1:23:52
- 8 福原 昌代 北海道 北海道大学 1:25:19
- 9 小野 翔子 栃木 明治大学 1:28:02

**<大学対抗得点>**

男子	トラック	ロード	合計
1 日本大学	57	48	105
2 法政大学	39	16	55
3 順天堂大学	44	0	44



- 4 京都産業大学 18 14 32
- 5 鹿屋体育大学 21 1 22
- 6 早稲田大学 21 0 21

**女子**

	トラック	ロード	合計
1 順天堂大学	15	11	26
2 鹿屋体育大学	14	6	20
3 明治大学	8	0	8





## 日本スポーツマスターズ2003 自転車競技会

今年3回目となる(自転車競技は2回目)日本スポーツマスターズ2003が和歌山県で陸上競技、水泳、サッカーなど13競技、約6千人の選手が参加し開催された。

自転車競技は9月27・28日の二日間、和歌山競輪場(周長400m)において行われ、男子75名、女子5名計80名が出場

した。大会当日天候にも恵まれ、風は強かったが、大会新記録も17個と好成績だった。

今回競技場で数名の方からお話を伺えた。ほとんどの方が楽しんで自転車競技に励んでいる。笑顔が素敵だ。「以前走っていて、10年間のブランクがあったがまた走り出した」、「友達に誘

われて」、「仕事以外でも仲間がたくさんできて楽しい」、「風を切って走る爽快感」、「健康のため」など動機は様々だが、生涯スポーツとして自転車競技がもっと盛んになることを期待したい。

来年の「日本スポーツマスターズ2004」は福島県泉崎国際サイクルスタジアムで9月23・24日の予定。

### [ 競技結果 ]

男子1kmタイムトライアル	
< 1部 >	
1 和波 哲哉 愛知	1.20.031
2 岩間 慶二 千葉	1.24.920
3 佐々木幸蔵 富山	1.37.580
< 2部 >	
1 稲場 勉 愛知	1.13.893
2 後藤 高明 大分	1.14.044
3 青木 康博 岩手	1.15.651
< 3部 >	
1 外勢 肇 愛知	1.13.818
2 門松 克己 大阪	1.14.577
3 浅倉 基 富山	1.16.967
< 4部 >	
1 渡辺 正彦 埼玉	1.17.310
2 小田 秀明 静岡	1.18.706
3 脇田 藤秋 愛媛	1.21.455
< 5部 >	
1 中村 仁 東京	1.19.207
2 細山 正一 東京	1.20.577
3 大沢 光夫 北海道	1.23.065
男子スプリント	
< 1部 >	
1 田中伊久男 奈良	
2 市川 英昭 神奈川	
3 田神明彦 千葉	
< 2部 >	
1 吉村 慎二 岐阜	
2 坂上 信也 北海道	
3 青木 康博 岩手	
< 3部 >	
1 山田富美雄 岐阜	
2 小屋口陽二 三重	
3 外勢 肇 愛知	

< 4部 >	
1 高岸 豊治 三重	
2 西丸 房雄 大分	
3 若杉 平雄 愛知	
< 5部 >	
1 中村 仁 東京	
2 鈴木 真人 静岡	
3 白新田 攻 東京	
男子個人追抜競走	
< 1部 >	
1 櫻脇 哲也 徳島	3.54.494
2 入井 直樹 北海道	3.55.307
3 金 世保 愛知	4.14.253
< 2部 >	
1 稲場 勉 愛知	4.02.348
2 後藤 高明 大分	4.06.233
3 鎌田 彰 栃木	4.07.830
< 3部 >	
1 浅倉 基 富山	4.04.579
2 山本 論 栃木	4.10.495
3 川崎 正志 大阪	4.16.396
< 4部 >	
1 渡辺 正彦 埼玉	4.05.612
2 小田 秀明 静岡	4.09.149
3 石原 正美 東京	4.56.964
< 5部 >	
1 細山 正一 東京	追抜勝
2 池田 孝男 香川	OVT
3 藤田 照夫 埼玉	4.40.533
男子ケリ	
< 1部 >	
1 市川 英昭 神奈川	
2 田中伊久男 奈良	
3 田神明彦 千葉	
< 2部 >	

1 吉村 慎二 岐阜	
2 伊藤 正人 愛媛	
3 坂上 信也 北海道	
< 3部 >	
1 山田富美男 岐阜	
2 門松 克己 大阪	
3 小屋口陽二 三重	
< 4部 >	
1 西丸 房雄 大分	
2 高岸 豊治 三重	
3 若杉 平雄 愛知	
< 5部 >	
1 鈴木 真人 静岡	
2 白新田 攻 東京	
3 佐藤 広光 福島	
男子16km <sup>3</sup> イントレ	
1 入井 直樹 北海道	21 p
2 岡武 孝浩 岐阜	18 p
3 高橋 秀樹 静岡	15 p
男子子-ムスリ	
1 愛知 外勢・越猪・稲場	1.24.829
2 大分 1 西丸・後藤・来	1.27.390
3 北海道 坂上・橋本・入井	1.30.889
女子500mタイムトライアル	
1 濱田 真子 東京	41.133
2 松本 里香 東京	45.992
3 金田真知子 三重	48.028
女子スプリント	
1 中尾 訓子 京都	
2 金田真知子 三重	
女子3km個人追抜競走	
1 濱田 真子 東京	3.04.867
2 中尾 訓子 京都	3.18.181
3 藤田 裕子 埼玉	3.36.509

[ 年齢区分 ]	
男子 1部	35 ~ 40歳未満
2部	40 ~ 45歳未満
3部	45 ~ 50歳未満
4部	50 ~ 55歳未満
5部	55歳以上
女子	35歳以上



福島・佐藤 広光さん(本大会最年長者) 自転車のマスターズを心待ちにしていた。来年は地元福島だから頑張る。



静岡・高橋 秀樹さん 競技歴8年 現在実業団BR-1で走っています。今回は和気あいあいアシストします。



北海道・大沢 光夫さん 競技歴20年 6年前脳内出血で入院したがその後リハビリを兼ね復帰、練習に励んでいる。



富山・浅倉 基さん 競技歴20年 この日のために練習したので上位を狙いたい。



埼玉・藤田 照夫さん 競技歴40年 生涯スポーツとして楽しく走りたい。奥様も出場。家族一緒できました。



東京・白新田 攻さん 競技歴40年 今年3月、胃を摘出したが、退院した翌日から自転車に乗ったほど自転車好き。



大活躍の岐阜県チーム 年間12回ほど普及大会や練習会を開催、パワー全快。



三重・金田 真知子さん(右) 競技歴3年 運動不足解消のため旦那様(左)と一緒に走り始めました。今日は一生懸命走ります。



静岡・鈴木 真人さん 競技歴7年 以前息子が自転車競技をやっていたので自分も興味をもって、優勝目指す。



東京・濱田 真子さん 競技歴4年 自己ベスト更新 京都・中尾 訓子さん 競技歴2年 学生の頃アル500mTT、40秒台を狙いたい。ペンスキーの選手だった。

日本スポーツマスターズ2003自転車競技に参加して



昨年の成績を省みて、ゴールスプリントがやや落ちて来たので、今年はトラックでスピードを付けようと思い本大会の参加を決めた。

練習は、地元多摩川のサイクリングロードでインターバルを主体に行ったり、積極的にトラックレースにも参加しようと静岡県修善寺町日本CSCでのマスターズ大会等に出場し大会に備えた。

しかし、いよいよ本番のマスターズに向けて1日3回の練習に明け暮れたせいか、ついに腰に張りが出てきて思うように練習できなくなってしまった。

仕方なく、知人の紹介でレースの4日前に練習を休んでマッサージを受けることになった。しかしお陰で腰の張りがとれ、大会当日を迎えることが出来た。大会の1日目はスプリント予選で12秒856(大会新記録)で決勝へ、1kmタイムトライアルでは、また腰痛にならないか不安があったが、1分19秒207(大会新)で優勝。大会2日目はスプリントは3本勝負で1本目、2本目と勝って優勝できた。

マスターズ競技は往年の名選手と一諸に競技ができ、1日に予選から決勝まで走ると何回でも走れるので楽しい。(中村 仁)

自分の生涯スポーツ、自転車について考えていること



私自身、他の方より「ご趣味はなんですか?」と聞かれることがあります。自転車サイクリングですとこたえと、ほー、それは健康的ですね、だけど疲れませんかなどと言われま、確かに健康的には違いますが、それを意識して乗っている訳ではありません、自分にとって自転車は単に乗り物では無く共に苦楽を分け合う友人です、ただ走っているだけで楽しく晴れやかな気持ちになれるのです、確かに坂道や雨風は辛く苦しいです、時には自分は今何故走っているのか、思い悩むこともあります、そのすべてを含めて、それでこそ自転車は良いな一と思います、未永く付き合っていくと愛車たちに語りかけています、

しかし、年齢を重ねて行き自分にも走ることが出来なくなる日が必ずやって来るとは思います。その時まで精一杯頑張って走って行こうと考えています、それと自分より高齢の方の現役の方のいらっしやる内は辞めないつもりです、辞める時は自分が最高年齢でありたいもので、何時までやれるか楽しみでもあります。(細山 正一)

# 競技大会 結果

チーム名等については略して記載

## 第9回北日本チャンピオンサイクリストレース (9/14 秋田・六郷町、千畑町)

### 女子(29.0km)

- 1 佐藤 智子 福島 ORBEA 49:54.62
- 2 中山 朋子 神奈川 ミタバ 和 49:55.41
- 3 濱田 真子 東京 ミタバ 和 51:12.78
- 4 遠山 恵 岩手 順天堂大学 52:18.25
- 5 杉村 久美 山形 山形電波工 52:19.32

### ジュニア1年生(43.0km)

- 1 山崎 将幸 秋田 能代西高 1:14:08.47
- 2 土屋 貴裕 山形 山形電波 1:14:12.79
- 3 地主 豊 山形 村山農高 1:14:16.79
- 4 荒川 良太 福島 岩瀬農高 1:14:17.73
- 5 佐々木晴基 山形 山形電波 1:14:33.53
- 6 荒井 透 山形 山形電波 1:17:34.48

### ジュニア2・3年生(43.0km)

- 1 守澤 太志 秋田 大曲農高 1:09:21.29
- 2 仲村 天晴 秋田 大曲農高 1:09:21.90
- 3 村上 純平 山形 山形電波 1:09:22.48
- 4 長江 寿也 青森 八戸工高 1:09:22.70
- 5 夏堀 宏司 青森 八戸工高 1:09:23.19
- 6 根本 哲吏 秋田 大曲農高 1:09:50.36
- 7 米倉 賢 岩手 紫波高校 1:11:28.02
- 8 小野寺政人 青森 八戸工高 1:11:31.50
- 9 小村 茂之 青森 八戸工高 1:11:32.25
- 10 植村 翼 秋田 六郷高校 1:11:37.68

### U23(50.0km)

- 1 土井 利延 山形 田中産業 1:17:24.34
- 2 長谷川嘉男 神奈川 1:17:30.08
- 3 石黒 大樹 山形 Sorriderre 1:17:39.41
- 4 松田 浩勇 岩手 サイクル 1:19:50.72
- 5 中村 正壽 岩手 プルメ21 1:19:53.01
- 6 峰岸 文由 神奈川 P'erigueux 1:20:44.91
- 7 齋藤 道明 福島 チームルミア 1:20:45.28
- 8 新沼 光 埼玉 チームツタ 1:20:47.62
- 9 菅 龍 東京 SEKIYA 1:20:49.66
- 10 八重樫健治 岩手 チェンピオン 1:20:54.48

## 第39回西日本学生新人戦 (9/14 京都・向日町競輪場)

### 1kmタイムトライアル

- 1 稲川 翔 大阪経済大学 1.13.28
- 2 米田 徹 龍谷大学 1.14.28
- 3 南谷 晃律 大阪工業大学 1.21.13
- 4 渡辺 良太 京都大学 1.23.58
- 5 館上 尚吾 同志社大学 1.24.31

### スプリント

- 1 鈴木 幸弘 京都産業大学
- 2 相原 章吾 北陸大学
- 3 谷川 幸司 立命館大学
- 4 山本 雄介 同志社大学

### 4km個人追抜競走

- 1 佐藤 公威 立命館大学 5.12.26
- 2 奥田 雄一 京都産業大学 5.13.96
- 3 葛谷 琢磨 中京大学 5.22.85
- 4 戸田 大策 名古屋産業大学 5.23.67
- 5 流田 裕士 北陸大学 5.30.17
- 6 牧田 洋和 朝日大学 5.34.71

### ケイリン

- 1 益子 裕介 朝日大学
- 2 河合 彬 大阪経済大学
- 3 花井 太祐 北陸大学
- 4 山本 学 大阪産業大学
- 5 安田 篤史 中京大学

### 24kmポイントレース

- 1 辻 龍一 京都産業大学 73 p
- 2 木下 涉 京都大学 44 p
- 3 谷 則男 大阪工業大学 18 p
- 4 田口 健司 名古屋産業大学 13 p
- 5 今野 秀徳 京都産業大学 12 p
- 6 向川 訓司 中京大学 12 p

### 女子500mタイムトライアル

- 1 近藤麻由子 同志社大学 45.48
- 2 古澤 美歩 中京大学 49.30

### 女子3km個人追抜競走

- 1 古澤 美歩 中京大学 5.15.62

## 第3回全日本実業団ケイリン in 神戸 (9/21 兵庫・神戸ポートアイランド)

### BR-1(82.40km)

- 1 野寺 秀徳 シェルシグ 1:26:55.793
- 2 阿部 良之 シェルシグ 1:26:55.856
- 3 鈴木 真理 シェルシグ 1:26:55.930
- 4 米山 一輝 ミタバ 和 1:27:19.384
- 5 飯島 誠 ミタバ 和 1:27:31.001
- 6 三船 雅彦 ミタバ 和 1:27:56.826
- 7 今西 尚志 シェルシグ 1:28:08.385
- 8 狩野 智也 シェルシグ 1:28:08.712
- 9 中川康二郎 ミタバ 和 1:28:09.148
- 10 田中 光輝 愛三工業 1:28:09.208

### BR-2(57.68km)

- 1 児玉 規英 YOU CAN 1:23:43.039
- 2 入井 直樹 チェンピオン 1:25:00.323
- 3 福田 崇哉 なるしまフレンド 1:25:00.539
- 4 北川 光治 ミニシグ チーム 1:25:00.593
- 5 小室 雅成 みさかレーシング 1:25:00.681
- 6 古賀 善行 カガリヤ 1:25:00.694
- 7 新出 哲也 チームアトラク 1:25:00.713
- 8 中西 浩一 チェンピオン 1:25:00.979
- 9 青木 誠 エルノア&ヤマタ 1:25:00.999
- 10 堀切 善之 なるしまフレンド 1:25:01.008

### BR-3(41.20km)

- 1 林 次郎 CCDクラブ 1:00:21.498
- 2 黒田 篤司 BALBA R. 1:00:22.069
- 3 飯塚 隆文 シグネーシング チーム 1:00:22.209
- 4 塚野 満 SPACE 1:00:22.270
- 5 小野 肇 たかだフレンド 1:00:22.287
- 6 梶栗 秀敏 HAMMER!!BR 1:00:22.388
- 7 国吉 正紀 ケイリン 1:00:22.626
- 8 高島 光 POLPO 1:00:22.732
- 9 杉浦 正和 チームマリオン 1:00:22.983
- 10 深尾 繁治 FUKADA 1:00:23.011

### 女子(41.20km)

- 1 小野山恵美 イキップレーシング 1:05:39.399

- 2 坂田 佳子 POLPO 1:05:40.253
- 3 豊岡 英子 CCDクラブ 1:05:40.442
- 4 関家 朋子 ミタバ 和 1:07:00.254
- 5 福原 昌代 北海道大学 1:07:36.249
- 6 山口麻理子 BALBA R. 1:07:36.408
- 7 仲 真理子 POLPO 1:08:10.315
- 8 三井 由香 ケイリン 1:08:44.341
- 9 楠 里紗 シェルシグ 1:09:01.941
- 10 木村 清香 BALBA R. 1:09:45.445

## 第39回東日本学生新人戦 (9/21 神奈川・平塚競輪場)

### 男子1kmタイムトライアル

- 1 川村 崇 東京 早稲田大学 1.10.12
- 2 高島 豪 埼玉 中央大学 1.10.40
- 3 水野 悟志 静岡 法政大学 1.12.71
- 4 川崎 大慈 熊本 順天堂大学 1.13.22
- 5 野口 智史 岐阜 順天堂大学 1.13.22
- 6 原口 賢一 長野 信州大学 1.13.78

### 男子スプリント

- 1 屋良 朝春 沖縄 日本大学
- 2 佐川 翔吾 大阪 順天堂大学
- 3 柴崎 俊光 三重 中央大学
- 4 萩原 和文 群馬 法政大学
- 5 花澤 純二 千葉 明治大学
- 6 山田 賢 神奈川 明治大学

### 男子4km個人追抜競走

- 1 矢代 慎吾 富山 日本大学 5:07.43
- 2 片山 智晴 岡山 法政大学 5:08.28
- 3 大野 涼太 青森 日本大学 5:11.26
- 4 蛭名 洋平 青森 法政大学 5:13.30
- 5 糸賀 賢司 福島 日本大学 5:14.96
- 6 柴田 祐也 岐阜 法政大学 5:15.67

### 男子ケイリン

- 1 加藤 愛彬 山口 法政大学
- 2 菅井 寛之 山形 法政大学
- 3 福山 健太 鹿児島 法政大学
- 4 鈴木 貴之 愛知 早稲田大学
- 5 山口 泰史 福島 日本大学
- 6 加藤 久詞 愛知 明治大学

### 男子30kmポイントレース

- 1 佐藤 佑一 岩手 順天堂大学 21 p
- 2 吉田 将成 岐阜 日本大学 18 p
- 3 西村 行貴 熊本 日本大学 11 p
- 4 三嶋 忠義 北海道 北見大学 9 p
- 5 松村 光浩 和歌山 日本大学 8 p
- 6 佐々木正美 青森 日本大学 5 p

### 女子500mタイムトライアル

- 1 篠崎 新純 千葉 明治大学 40.84
- 2 加藤 尚恵 埼玉 日本体育大学 41.82
- 3 平中あゆ美 岩手 浅井学園短大 42.02

### 女子3km個人追抜競走

- 1 松永 舞美 香川 法政大学 4.23.48
- 2 青木千江子 群馬 前橋育英短大 4.25.42
- 3 小野 翔子 栃木 明治大学 4.45.38

## 2003 MTBジャパンシリーズ J2/XC (9/27-28 愛媛・八幡浜)

### 男子エリート(37.2km)

- 1 竹谷 賢二 千葉 FORD/SP2:01:24.03
- 2 白石 真悟 大阪 シグネーシング 2:03:48.00
- 3 藤本弥之助 山口 シグネーシング 2:08:59.05
- 4 佐藤 貴巳 大分 シグネーシング 2:09:17.92



## 登録者のアンチドーピング検査規則に関わる裁定について

2003年9月30日に行われた本連盟アンチドーピング委員会において、下記競技者のアンチドーピング検査規則に関わる違反行為について、UCIおよびJCF規則に基づき検討した結果、下記の決定をいたしました。

- 1 決 定 真鍋 和幸(51MP9702430・ミヤタスバル)は本連盟競技規則および国際自転車競技連合競技規則に照らして違反行為を犯したことを警告し、罰金10,000円を科す。
- 2 事 由 真鍋 和幸は、2003年9月15日に行われた「2003 ツール・ド・北海道国際大会」第5ステージ「札幌市モエレ沼公園」後に、検査対象に指定されたにもかかわらず、規則に定められた期限に19分遅れてアンチドーピング検査室に出頭したが、規則に従い検査を受けることができなかった。  
本連盟に登録する競技者は、登録者規程第1条にあるように、競技規則をはじめ諸規程およびUCI規則を順守しなければならない。特にアンチドーピングについては、本連盟登録者規程第2条に「競技に際して、特にドーピングまたは暴力行為などによりフェアプレーの精神に明らかに違反してはならない。」とあるように、厳しく定められている。  
アンチドーピング検査規則においては、検査への不出頭はドーピング行為と同等とみなされる重大な違反行為である。しかも本来であれば他の競技者の模範となるべき立場でありながら、今回の事例のような単純な過失による行為は本連盟として遺憾とするところである。しかしながら当該者が1ヶ月間自転車競技活動を自粛している事実を斟酌し、この不作為については上記の制裁を科すことを決定した。  
今回の事例において軽度の制裁を科す決定がなされたものの、本人およびチームの過失は看過できない事実である。今後このような違反を犯さないよう、競技に参加するにあたっては諸規則を理解の上、十分に注意して臨むよう指導する。
- 3 適用条項 日本自転車競技連盟競技規則第7条、第34条、第35条、第36条および第99条  
UCIアンチドーピング検査規則第72条、第127条、第128条および132条

- 5 堂城 賢 長野 G.FISHER 2:12:00.40  
6 久保 伸次 京都 foobar net2:12:17.92  
7 門田 基志 愛媛 FORD/SP2:13:25.79  
8 笹部 勝 大阪 キャノン 2:13:47.99  
9 柴田健太郎 福岡 FORD/SP2:16:39.96  
10 角田 和男 広島 MF/KONA -1 LAP
- 女子エリート(24.8km)
- 1 南部 博子 福岡 TREK J. 1:37:14.21  
2 高橋いづみ 東京 SY-Nak 1:39:49.16  
3 榎本 梨絵 岡山 Be-One 1:41:41.53  
4 深井 薫 大阪 G.FISHER 1:46:28.02  
5 中口 裕代 長野 commenal1:51:58.04  
6 武田美夕紀 愛媛 走れ馬鹿犬 1:55:17.56  
7 岐部 容子 福岡 正屋中村学園 -1LAP  
8 長井 美香 京都 FUNRIDE -1LAP  
9 中曾 綾香 福岡 Q-MAX ace -2LAP

第36回全日本学生室内自転車競技選手権  
(9/27-28 東京工業大学体育館)

## サイクルサッカー

- 1 第一経済大学 浜 秀明・大松 敏和  
2 東京工業大学 橋本 太郎・嚮田 哲郎  
3 桃山学院大学 富田 博嗣・田中 和宏  
4 大阪大学 西内 雄将・上田 一路  
5 東京工業大学 時倉 宗大・藤田 洋介  
6 第一経済大学 青野 拓也・佐藤 亮介

## サイクルタイムアップ(男子シングル)

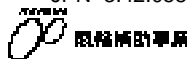
- 1 永井 隆 東京工業大学 234.40  
2 芝山 耕輔 東京工業大学 225.87

前号の「第10回ジュニア・アジア選手権」の記事中、男子ジュニア・3km個人追抜競走の結果が抜けておりましたので、ここに掲載いたします。

## &lt;男子ジュニア&gt;

## 3km個人追抜競走

- 1 JU Hyun Wook KOR 3:37.372  
2 RAJABLOV Mohammad IRI 3:38.298  
3 JAMALUDIN Amirrudin MAS 3:38.052  
4 HUANG Hsin Hua TPE 3:46.108  
6 石川 雅望 JPN 3:42.058



## インフォメーション コーナー

## サイクルショー

## 「2003東京国際自転車展」

10月31日(金)から11月2日(日)9:30-17:30(最終日17:00)

東京ビックサイト 西1・2ホール

主催:(株)インタープレス <http://www.cyclepress.co.jp>

一般入場料1000円 中学生以下無料

## NEW!!わかふじ国体

「第58回国民体育大会秋季大会」競技記録をインターネットで見られます。

ロードレース:10月26日(日) トラックレース:10月27日(月)~30日(木)

大会ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-06>

記録速報 <http://www.kirokukensaku.com/kokutai>

## Japan Cup 2003

大会名:2003 ジャパンカップサイクルロードレース

主催:宇都宮市・財団法人日本自転車競技連盟

開催地:栃木県・宇都宮市森林公園周回コース

10月25日(土)

10:00~10:40 フリーラン(14.1km)

10:50~11:50 チャレンジレース(24.4km)

12:00~14:30 オープンレース(男子80.8km、女子42.3km)

10月26日(日)

10:00~ ジャパンカップサイクルロードレース(151.3km)

UCI 1-3 クラス

## 出場チーム

ランプレ(イタリア)/サエコ(イタリア)/クイックステップ・ダビタモン(ベルギー)

チームピアンキ(ドイツ)/コフィディス(フランス)/ジャンドラツール(フランス)

JPCA/シマルレーシング/愛三工業レーシングチーム/スミタラパネロ・パールイズミ

日本舗道レーシングチーム/ミヤタスバルレーシング/Team ORBEAエチエオンド

チームプリヂストン・アンカー/CCD・キナン(以上9チーム日本)

<p>チョンジュMBC 国際ジュニア・ロードレース 日本代表選手団</p> <p>大会名 チョンジュMBC国際ジュニア・ロードレース 開催場所 大韓民国 チョンジュ 大会期間 2003.10.24-11.2 派遣期間 2003.10.22-11.3 派遣選手団</p> <p>監督 高橋 松吉(JCFコーチ) コーチ 木村 光男(埼玉) マッサー 宮島 正典(JCFスタッフ) 選手 畑中 勇介(東京) 島田 真琴(東京) 長沼 隆行(埼玉) 瀧口 晃広(奈良) 吉成 晃一(熊本)</p>	<p>第12回ツール・ド・チャイナ 日本代表選手団</p> <p>大会名 第12回ツール・ド・チャイナ 開催場所 中国・北京市周辺 大会期間 2003.10.30-11.2 派遣期間 2003.10.28-11.3 派遣選手団</p> <p>監督 福田 公生(JCFコーチ) メニツク 鬼原 積(JCFスタッフ) マッサー 村川満紀子 選手 飯島 誠(JPCA) 広瀬 敏(JPCA) 岡崎 和也(JPCA) 真鍋 和幸(JPCA) 中川康二郎(茨城) 福島 康司(JPCA)</p>	<p>2003ツール・ド・台湾 日本代表選手団</p> <p>大会名 2003ツール・ド・台湾 開催場所 チャイニーズ・タイペイ 大会期間 2003.11.19-27 派遣期間 2003.11.17-28 派遣選手団</p> <p>監督 福田 公生(JCFコーチ) メニツク 鬼原 積(JCFスタッフ) マッサー 石田 宗男(JCFスタッフ) 通訳 中島 麗羽 選手 真鍋 和幸(JPCA) 中川康二郎(茨城) 福島 康司(JPCA) 土井 雪広(山形) 岩本竜太郎(広島) 盛 一大(茨城)</p>
---	--	--

## ACCトラックアジアカップ日本代表選手団

大会名	ACCトラックアジアカップ2003 タイラウンド / 日本ラウンド		
大会場所	タイ・バンコク / 東京・京王閣競輪場		
大会期間	2003.11.8-9 / 2003.11.12-13		
派遣期間	2003.11.6-10 / 2003.11.11-13		
派遣選手団			
監督	班目 秀雄(JCFコーチ)	メニツク	森 昭雄(JCFスタッフ)
マッサー	柳 浩史(JCFスタッフ)	総務	関口 美裕(JCFスタッフ)
選手			
<タイランド>	飯島 規之(JPCA)・前反祐一(JPCA)・大森 慶一(JPCA)・永井 清史(JPCA)・山口 幸二(JPCA) 飯島 誠(JPCA)・坂口 博(愛知)・西谷 泰治(愛知)・太刀川麻也(茨城)		
<日本選手>	飯島 規之(JPCA)・坂本 勉(JPCA)・窓場加乃敏(JPCA)・小嶋 敬二(JPCA)・大森 慶一(JPCA) 永井 清史(JPCA)・内田 慶(JPCA)・西谷 泰治(愛知)・伊藤 太一(山梨)・太刀川麻也(茨城) 齋藤 綾(秋田)		

## 連盟の動き (9月中旬～10月上旬)

- 9月16日 渋谷税務署第1回法人税・消費税調査(～17)
- 25日 第3回総務委員会・第3回理事会
- 26日 トラック強化合宿 於：日本CSC(～10/1)  
平成16年度公益補助金ヒヤリング 於：経済産業省車両課
- 27日 第2回広報委員会 於：日本CSC
- 29日 ジャパンカップ推進委員会・実行委員会 於：宇都宮市
- 30日 第5回選手強化委員会 於：日本CSC  
第2回アンチドーピング委員会
- 10月3日 ロード世界選選手団出発 於：カナダ(帰国 10/14)  
第5回常務理事会 兼 第6回選手強化本部会
- 6日 渋谷税務署第2回法人税・消費税調査

## 連盟事務局の人事異動について

平成15年10月1日付

高橋 友彦

総務部付 嘱託

事務局次長 兼 業務部部长

志摩 謙治

業務部部长 兼 総務部財務課課長

業務部次長 兼 総務部財務課課長



シクリスムエコー No.102 2003年10月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯 昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL http://www.jcf.or.jp/

JCF協賛スポンサー

